

<学校名> 草加市立両新田中学校
<所在地> 草加市両新田西町368-1
<電話> 048-924-5051
<本事例の特徴>

本校は外国籍の生徒が多数在籍している一方で、日本国外でどんなことが起きているのか知る生徒は少ない。教科横断的に国外のことを取り扱っているが、今回は特別な教科 道徳における国際理解教育の取り組みについて紹介する。

<具体的な取組や成果>

○特別な教科 道徳での「国際理解教育」～その子の世界、私の世界～

・東京書籍「新しい道徳 3」を用いて、国際理解・国際貢献について学んだ。実際に世界各地で「子どもが置かれている現状」を写真で紹介し、実際にカカオ農園での児童労働の映像を見せ生徒達に国外での子どもたちが置かれている現状を伝えた。

○生徒の感想より(一部抜粋)

今、自分が当たり前「衣食住」が充実していて学校に通えていることにとってもありがたさを感じた。そして自分の知らない当たり前のことを、動画を通して知り、今の自分にできることは少ないけれど、まずは他国の現状について知ることが大事であると感じた。



世界中の苦しい生活をしている子どもたちの現実をもっとみんなに知ってもらうことが大切である。知識で知っていても「自分には関係ないから」と言ってこれらの問題から目を背けないようにしたい。今自分ができる支援(SNSでこれらの情報を伝える、募金など)をしてあげたいと思った。



○日本で不自由なく暮らすことができている現状や日々教育を受けられていることに感謝すると共に、この子どもたちのためにできることは何かを考えさせる活動を行うことができた。
○社会科や外国語科の授業でも取り扱っている話題であり、教科横断的に道徳の授業だけでなく、この現実を伝え考えさせる機会を作ることができた。